

■ 支部 だ よ り ■	<hr style="border: 0; border-top: 1px solid black; margin: 0;"/>
---------------------	--

九州支部

平成25年度全国環境研九州支部の活動について、第39回九州衛生環境技術協議会および環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議の状況を報告します。

1. 第39回九州衛生環境技術協議会

(担当機関：宮崎県衛生環境研究所)

平成25年10月10日、11日に宮崎市において、大気分科会、水質分科会(生物分科会、衛生化学分科会、細菌分科会、ウイルス分科会および情報企画分科会も開催)、特別講演、全体会議を開催しました。

(1) 分科会

大気分科会において硫酸イオン濃度調査、酸性降下物調査、PM_{2.5}成分分析、火災時の大気環境状況および大気汚染物質高濃度事例等についての発表が、水質分科会においてはノニルフェノールの分析法と実態調査、LC/TOF-MS用全自動同定・定量データベースシステムの開発と水質事故への適用、鰻池における水質の状況および地下水中の硝酸性窒素濃度等についての発表があり、両分科会ともに活発な情報交換等が行われました。

(2) 特別講演

「越境性動物感染症とその対策」と題して宮崎大学農学部獣医微生物学研究室 教授 後藤 義孝氏にご講演をいただきました。

(3) 全体会議

業務の推進に顕著な功績のあった支部長表彰者(木庭亮一氏(熊本県保健環境科学研究所)、須納瀬正氏(鹿児島県環境保健センター)および檜崎幸範氏(福岡県保健環境研究所))を紹介しました。

また、平成24年度会務報告および分科会協議報告等が行われ、質疑ののち承認されました。

2. 環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議(担当機関：宮崎県衛生環境研究所)

平成25年7月25日に宮崎市において、九州支部のブロック会議を開催しました。

環境省の大久保教室長補佐から「環境測定分析統一精度管理調査について」、一般財団法人日本環境衛生センター西尾高好主査から「平成24年度環境測定分析統一精度管理調査結果について」ご講演をいただきました。

また「環境測定分析における留意点及び精度管理について」と題して、環境省環境調査研修所四ノ宮美保教官、愛媛大学 松田宗明助手および東京大学大学院 吉永淳准教授による討議が行われ、出席者からも活発な質疑等が行われました。

*
**